



東北防衛局では、日米の相互理解を深める取組みとして、在日米軍関係者と地域の住民の方々がスポーツ、文化などを通じて交流を行う「日米交流事業」を開催しています。

令和7年7月16日（水）、つがる市立車力小学校の児童と米陸軍車力通信所の軍人等が、かかし作りを通じて交流を行う「日米交流かかし作り交流プロジェクト in つがる2025」を開催しました。

日米の参加者33名（小学生25名、軍人等8名）は、混合5チームに分かれ、児童が事前に準備した「かかし」のイラストを基に、日本語と英語を交えながら、イメージに近づけるべく協力しあって、骨組みに縄や藁を巻き付けかかし本体を制作。浴衣を着せて小物などで装飾して、2時間ほどで個性豊かな「かかし」を完成させました。

参加者からは「米軍の人と話せて友達みたいになれた。また会いたい。」「子どもたちが創造力のあるアイデアをたくさん出してくれ、楽しく作ることができた。」などの感想が寄せられました。

今回制作した「かかし」は、7月17日（木）～8月7日（木）までの間につがる市北消防署に展示するほか、8月8日（金）～27日（水）までの間につがる市役所庁舎に展示してコンテストを行い、来場者の人気投票で優秀作品を決定します。9月には、投票の結果に基づき、表彰式を行う予定です。

今回のイベント開始前には、小学校の外に集合していた米軍に対し、過去にかかし作りを経験した中学生達が、隣の校舎の教室から両手を振りながら大きな声で「ハロー」と挨拶する姿も見られました。

東北防衛局は、在日米軍と地域住民の方々の相互理解を深め、信頼関係醸成の一助となるよう今後も様々な形で活動してまいります。



かかしの作り方説明



各チームで自己紹介



かかしのベース作成



かかしの頭部作成



かかしの腕作成



かかしの胴体作成



服を着せてデコレーション



交流の様子



完成したかかし



記念撮影